

芸術家の集う店、
美女とネコ、
通りで遊ぶ子どもたち
夕立のなか、買い物へ出るお婆さん

写真家 甲斐扶佐義 初回顧展 *at World Heritage Site, Former imperial villa Nijo-jo Castle*

“Living as a poet in Kyoto” The first retrospective of Kai Fusayoshi's Photography

「京都詩情」



シャボン玉と少女 1991 © Kai Fusayoshi

カメラを持って街中をほっつき歩く。
それだけで幸せなのだ。

甲斐扶佐義「地図のない京都」一九九二、まえがきより

伝説の喫茶店「ほんやら洞」と「Bar八文字屋」を経営する写真家、50年の軌跡

2019.9.21 |sat.|-10.6 |sun. 会期中無休 8:45-17:00 (入城は16:00まで)

世界遺産 元離宮二条城 二の丸御殿台所 (重要文化財)

キュレーター：パスカル・ボース(フランス国立造形芸術センター/写真コレクションキュレーター)

「ニュー・ブランシュ KYOTO 2019」プログラム

GRAND MARBLE **DMG MORI** *agnès b.* NANASAI CO.LTD. **ガクブチの** **MAVEN** walden woods **京都中央信用金庫**

協賛：株式会社グランマール、DMG 森精機株式会社、アニエスベージャパン株式会社、株式会社七彩、ガクブチのヤマモト、walden woods kyoto、京都中央信用金庫

企画：MUZ ART PRODUCE

MUZ
ART PRODUCE

K Y O U I
B O T O T
L O T
A N C H



雪かきをする店主たち 出町樹形商店街 1976



シルエット猫 ほんやら洞 1976



札ノ森の妖精 札ノ森 1994

伝説の喫茶店「ほんやら洞」と「Bar 八文字屋」を 経営する写真家、50年の軌跡

甲斐 扶佐義 (かい ふさよし) プロフィール

2015年に火災で失われた伝説の喫茶店「ほんやら洞」、いまでも夜な夜な様々な文化人が集う「Bar 八文字屋」、甲斐 扶佐義 (1949年大分生)はこれらの経営者であり、文筆家、そしてなによりも京都を愛し京都を撮り続けた写真家です。

モノクロの世界に落とし込まれたその情景は、懐かしさを感じさせつつ、どこか異国のもののようにも感じられ、日本国内外で愛されています。

90年代には京都新聞紙上でフォト&エッセイを連載し、2001年より連続的に欧米各地で招待個展を開催。写真集は「路地裏の京都」「Beautiful Women in Kyoto」「京都の子どもたち」「京都猫町ブルース」等、40冊以上出版。2019年にはフランクフルトのGalerie Isolaで個展を開催するなど、近年もその創作意欲はとどまることを知りません。

日々、京都を撮りながら時代を跨ぐ。自由と反発の時代から不安定な今日に至るまで…甲斐扶佐義は独特のスタイルを確立した。それは時代を超えて流行とは無関係だが、彼の住む街の日常に寄り添う。

彼は京都の大小さまざまな出来事のヴィジュアルストーリーを描いた。

京都にこのような眼差しを向けるものは彼以外に誰もいない。

包み込むような優しさと感謝の気持ち、深い人情が込められた視点。

あらゆる場所や時間に潜む美を見出すことができる視点。京都のそれぞれの場所、日本社会の昼と夜が切り替わる律動の各瞬間に存在する美。

甲斐扶佐義は呼吸をするかのように写真を撮る。実存主義的なやり方で、一瞬一瞬に彼の詩人の魂が目覚める。シャッターを切るきっかけは、暮らしの意外な場面に対する驚きと感嘆であり、それぞれの瞬間には美が宿る。それは模索する視点だ。どの作品においても彼が出会ったこと、生きた瞬間 に対する、ひとりの詩人の視点である。

—— パスカル・ボース



少女には横断歩道であれ路地裏であれ遊び場
出町広場付近(青龍町) 1978



一輪車の少年 古川町商店街 1990

「京都詩情」 写真家 甲斐扶佐義 初回顧展

2019年9月21日(土) - 10月6日(日)

会期中無休 8:45-17:00 (入城は16:00まで) *9月はお城自体の開城時間は8時から

世界遺産 元離宮二条城 二の丸御殿台所 (重要文化財)
京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地 最寄駅—地下鉄東西線「二条城前駅」

入場無料 別途入城料が必要(入城料9月30日まで 一般600円 10月1日から一般620円)

10月5日(土) ニュイ・ブランシュ当日は18:00-22:00も開場(最終入城は21:45)
*18:00以降は写真展会場のみ公開のため入城料不要

—— イベント情報

写真家 甲斐扶佐義によるギャラリートーク

9月21日(土) 13:00- 9月25日(水) 14:00-
10月3日(木) 14:00- 会場：二の丸御殿台所

キュレーターパスカル・ボースによるトーク
「甲斐扶佐義、京都の詩人」

9月21日(土) 14:00-15:00
会場：二条城レクチャールーム(大休所隣)

ワークショップ | 時間内自由参加、予約不要

「いいしんじ、甲斐扶佐義と写真を撮ろう」
9月29日(日) 14:00-17:00

会場：二の丸御殿台所、レクチャールームなど
*カメラまたはカメラ付き携帯等写真が撮れるものをご用意ください
*ワークショップ参加は無料(別途要入城料)

「アニエスベー × 甲斐扶佐義展」

アニエスベーのカーディガンプレッションは誕生40周年を記念して発売当時と同じフランスの工場で生産したカラーバリエーションを発売。POP-UP 期間中お楽しみ下さい。

「walden woods kyoto@ ニュイ・ブランシュ KYOTO 2019」

多くの若者や旅行者がたずねる京都話題のカフェ空間。ニュイ・ブランシュ当日(10月5日)のみ、飲み物と軽食を特別出店。

